

第 27 回千葉県サッカー選手権大会
兼 天皇杯 JFA 第 102 回全日本サッカー選手権大会 千葉県予選
(準決勝・決勝戦)
開催要項

※本大会準決勝および決勝戦の観戦可否については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑み判断し、決定いたします。決定次第、改めて当協会ウェブサイト上にてお知らせいたします。

1 主催

公益社団法人千葉県サッカー協会

2 共催

共同通信社、千葉日报社

3 主管

公益社団法人千葉県サッカー協会（以下「当協会」という。）

4 期日

【準決勝】2022年4月24日（日） 第一試合 10:30 キックオフ 第二試合 13:30 キックオフ（予定）

【決勝戦】2022年5月7日（土） 13:00 キックオフ（予定）

5 対戦

【準決勝】第一試合：順天堂大学蹴球部 vs VONDS 市原 FC

第二試合：城西国際大学体育会サッカー部 vs ブリオベッカ浦安

【決勝戦】準決勝 第一試合の勝者 vs 準決勝 第二試合の勝者

6 会場

【準決勝・決勝戦】[第一カッターフィールド（秋津サッカー場）](#)（習志野市秋津 3-7-3）

7 参加資格

本大会の参加資格は、以下のとおりとする。

- (1) 大会実施年度に、公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」という。）に第1種加盟登録しているチームであること。
- (2) 選手は、前項のチームの登録選手であること。
- (3) 前各項の登録および本大会の申込締切日までに登録（エントリー）された選手で、参加申込みを完了した選手のみが出場資格をもつ。本大会の参加申込選手の人数は、1チーム40名以内とする。
- (4) JFAにより「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームに所属する選手を、移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は第2種以下の登録選手とし、第1種・シニアの年代の選手は適用対象外とする。

- (5) 参加チームは、本大会に5名までの外国籍選手を参加申込みすることができる。そのうち、試合にエントリーできるのは3名までとし、同一試合に出場できるのは3名までとする。
- (6) チームは、試合出場に際し、KICKOFF から出力した選手証または登録選手一覧を印刷、あるいは電子機器等の画面に表示することができるようにしておかなければならない。ただし、写真貼り付けまたはアップロードにより、顔の認識ができるものとする。なお、それらを持参しない選手は本試合に出場することはできない。
- (7) 参加チームがキックオフ時点で大会エントリー選手の中で確保できる選手人数を「試合エントリー予定選手数」として設定し、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける場合に、この条件を満たしていると本協会が判断した場合は、試合を実施する。ただし、通常の疾病、怪我等により出場できない場合は含まれない。
 - 1) 双方のチームは、各試合において試合エントリー予定選手数をエントリーしなければならない。試合エントリー予定選手数は11名とする。ただし、試合エントリー予定選手数にはゴールキーパー登録の選手が必ず1名以上含まれているものとする。また、チームスタッフについてはエントリー必須人数の下限を設けない。
 - 2) 双方のチームが試合エントリー予定選手数をエントリー完了した場合、試合は必ず開催される。エントリー完了後に練習中の負傷または急病等やむを得ない事情により選手の数が出場エントリー予定選手数未満となった場合であっても同様とする。
- (8) 試合日に、試合エントリー予定選手数を確保することができない場合は、次回戦試合日までに、主催者と当該チームが合意した日程・会場にて、試合日を順延して開催する。
- (9) 延期試合の調整がつかないと主催者が判断した場合は、抽選により次回戦進出チームを決定する。

8 参加申込み

本大会の参加申込みについては、以下のとおりとする。

- (1) 参加チームは、JFA Web 登録システム KICKOFF (以下「KICKOFF」という。) にログインし、「大会参加申込」より必要事項を入力の上、申込締切日までに参加申込み手続きを行うこと。
- (2) 本大会の参加申込選手の人数は、1チーム40名以内とし変更を認めない。
- (3) ベンチ入りするチーム役員(ドクター、トレーナー等含む)は、事前に参加申込登録を済ませなければならない。参加申込手続き(エントリー)されていない場合、ベンチ入りは不可とする。
- (4) 本大会において、ベンチ入りするチーム役員は、選手との重複登録は認めない(兼務は不可)。
- (5) 申込締切日以降の申込内容の変更は認めない。

9 申込締切日

2022年4月1日(金) 18:00 まで

10 競技方法

本大会準決勝および決勝戦の競技方法は、以下のとおりとする。

- (1) 試合時間は90分間(前後半各45分)とする。
- (2) ハーフタイムは15分間を確保するものとする。
- (3) 後半のキックオフ時刻は、前半終了時刻の15分後を後半のキックオフ時刻とする。
- (4) 90分間で勝敗が決しない場合には、5分間の休憩の後、30分間(前後半各15分)の延長戦を行う。

- (5) 延長戦で勝敗が決しない場合は、ペナルティーキック方式（各チーム 5 人ずつ、決着がつかない場合は 6 人目以降両チーム 1 人ずつで、勝敗が決定するまで）により勝利チームを決定する。なお、ペナルティーキック方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。
- (6) メンバー提出用紙は、指定の用紙に必要事項を記入し、キックオフ 100 分前までに運営本部に提出し、試合エントリーを完了しなければならない。その際、両チームのユニフォームの決定を行う。
- (7) 試合エントリー完了後からキックオフ時刻までの間における選手の変更は、以下に定める場合において、主審およびマッチコミッショナーの承諾を得た場合に限り認められる。
 - 1) 負傷または急病等チームの責めに帰さない事情による場合
 - ① 先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。
 - ② 控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申込みをした 40 名の中からとする。
- (8) キックオフ 70 分前に、マッチコーディネーションミーティングを実施する。両チームは監督・運営担当者の 2 名が必ず出席することとする。
- (9) 本大会の審判員は当協会審判委員会により割当て派遣される。
- (10) 試合の運営状況および試合状況を査察するためマッチコミッショナーを配置する。本大会のマッチコミッショナーは JFA マッチコミッショナーより当協会マッチコミッショナー委員会が割当て派遣される。

11 競技規則

大会年度 JFA 制定の競技規則による。ただし、次の項目については本大会規定を定める。

- (1) 本試合の試合球は、モルテン社製「F5E5000-H」とし、マルチボールシステムを採用する。
- (2) 参加申込みをした最大 40 名の選手のうち、試合に登録できる選手は最大 18 名とする。
- (3) ベンチ入りできる人数は、交代要員 7 名、事前に登録されたチーム役員 7 名の合計 14 名までとする。
- (4) ベンチ入りした交代要員は、シャツ（ウェア）の上から、両チームのフィールドプレーヤーと異なる色のビブスを着用しなければならない。また、ベンチ入りしたチーム役員についても、両チームのフィールドプレーヤーと異なる色のウェアを着用しなければならない。
- (5) 試合中の選手交代は、試合開始前に登録した最大 7 名の交代要員の中から 5 名以内とし、交代回数は 3 回までとする。試合が途切れる回数を減らすため、試合中の交代は各チーム最大 3 回とする。加えて、ハーフタイム時にも交代することができる。
- (6) 延長戦において、その直前の 90 分間の交代人数および交代回数と合わせて、最大 6 名かつ合計 4 回（ただしハーフタイム、延長戦開始前および延長戦のハーフタイムを除く）までの選手交代を行うことができる。

【交代に関する補足】

延長戦に突入した場合、交代人数は 6 人目、回数は 4 回目まで上限が拡大されます。90 分間で使用しなかった交代枠については、延長戦に繰り越されます。ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルや延長戦でのハーフタイムでの交代は、交代回数にカウントされません。

- (7) メンバー提出用紙により特定されたチーム役員の中から、その都度ただ 1 人のチーム役員のみが、試合中テクニカルエリア内において戦術的指示を伝えることができる。

- (8) 主審が選手の負傷等により試合を中断し、チーム役員の立ち入りを認める旨の合図をした場合に、チーム役員は2名以内に限り、ピッチ内に立ち入ることができる。ただし、このチーム役員は負傷の程度を判断したうえ可及的すみやかにピッチ外に退去しなければならない。

12 懲罰規定

懲罰規定については、以下のとおりとする。

- (1) 主審より退場を命じられた選手等は、本大会次回戦の試合1試合の出場を自動的に停止し、そのあと JFA 懲罰基準に準拠して、本協会規律・フェアプレー委員会が裁決を下す。
- (2) 本大会と天皇杯 JFA 第 102 回全日本サッカー選手権大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、本大会の終了によって残存した出場停止処分（警告の累積による出場停止処分は除く）は、天皇杯 JFA 第 102 回全日本サッカー選手権大会において順次消化する。なお、敗退チームについては順次、次の公式戦で適用される。
- (3) 本大会期間中に本協会規律・フェアプレー委員会において、出場停止処分の罰則が決定されながら、本大会の終了または本大会の敗退によって残存した出場停止処分については、順次、次の公式戦で適用される。
- (4) 警告による出場停止処分
 - 1) 本大会で累積された警告が2回となった選手等は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。
 - 2) 同一試合で2回警告による退場を命じられた選手等は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。本大会の終了または本大会の敗退によって残存した出場停止処分については、順次、次の公式戦で適用される。
 - 3) 前項2)における警告は試合出場停止により処分されたものとし、累積されない。
 - 4) 前項1)・2)における処分に該当する行為を重ねて行った場合は、最低2試合の出場停止処分を受ける。
 - 5) 累積された警告での出場停止処分および警告の累積は、本大会終了時をもって効力を失う。
- (5) 本大会は、JFA「懲罰規程」に則り、その他問題が生じた場合は、本協会規律・フェアプレー委員会にて協議のうえ、裁決を下す。
- (6) 本大会参加申込後の棄権は一切認めない。やむを得ぬ事情で参加不可能になった場合は、直ちに当協会および相手チームに通知し、本協会に対し改めて文書にて理由書を提出する。本協会は、理由書に基づき審議のうえ、処分を決定する。

13 ユニフォーム

大会年度 JFA ユニフォーム規程を遵守しなければならない。ただし、以下の項目については本大会用として規定を定める。

- (1) 両チームのユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は、キックオフ 100 分前のメンバー提出用紙提出時にあわせて決定をする。
- (2) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は、正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を、本大会参加申込み（Web 登録）の際に記載し、各試合に必ず携行すること（フィールドプレーヤー・ゴールキーパー用共）。
- (3) ソックスにテープもしくはその他の材質のものを貼りつける、または外部に着用する場合、着用する、もしくは覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない（競技規則記載のとおり）。

- (4) 本大会において着用するユニフォームの選手番号は、参加申込みした番号でなければならない。
- (5) 本大会において着用するユニフォームの選手番号は、「1～99」の整数のみ使用可能とし、0 および 100 以上の番号の使用は認めない。
- (6) 参加申込締切日以後のユニフォームの色、選手番号の変更は認めない。
- (7) ユニフォームへの広告表示については、大会年度 JFA ユニフォーム規程に基づき、JFA に承認された場合のみこれを認める。なお、会場によって広告掲出料が発生する場合は、当該チームの負担とする。

14 表彰

本大会の表彰については次のとおりとする。

- (1) 優勝チームには表彰状と楯を授与し、準優勝チームには表彰状を授与する。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、決勝戦終了後の表彰式は実施しない場合もある。

15 その他

- ・本大会優勝チームは、天皇杯 JFA 第 102 回全日本サッカー選手権大会に千葉県代表として出場する。
- ・スポーツ傷害保険については、各チームにて加入すること。
- ・本大会準決勝進出チームは、参加費 40,000 円を、準決勝当日、会場運営本部で現金にて支払うこととする。
- ・本大会における新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインについては、別途定めることとし、参加チームへ改めて連絡する。
- ・新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況や国・県などの動向、また、台風等の影響により、予備日での開催ができなかった場合は、抽選により勝利チームを決定する。

16 お問い合わせ先（大会事務局）

公益社団法人千葉県サッカー協会 TEL：043-310-4888（平日 10:00～17:00）